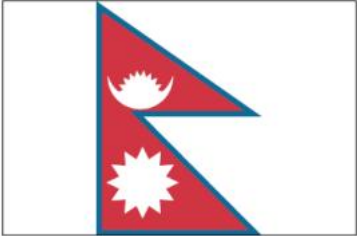


れんぽうみんしゅきょうわこく  
ネパール連邦民主共和国

	<p>さんかく かさ めす こっき すがら つき たいよう 三角を2つ重ねた珍しい国旗で、凶柄の月と太陽</p> <p>はヒンズー教のシンボルを表しています。端の</p> <p>あおいろ じん きも はいけい あかいろ あいこくしん 青色はネパール人の気持ちを、背景の赤色は愛国心</p> <p>あら を表しています。</p>
<p>しゅと 首都</p>	<p>カトマンズ</p>
<p>こくど 国土</p>	<p>めんせき まん ほっかいどう ばい 面積 14万7,000km<sup>2</sup> (北海道の1.8倍)</p> <p>ヒマラヤ山脈の南側に位置しています。国土の83%は山岳や</p> <p>きゅうりょうち こくど ひょうこう いじょう ほくぶさんかくちたい 丘陵地です。国土は標高5,000m以上の北部山岳地帯、600</p> <p>m~5,000mのカトマンズ盆地を中心とする中部、300m以下</p> <p>でインドのヒンドスタン平原に続く南部に大別されます。北部にはエ</p> <p>ベレスト、カンチェンジュンガをはじめとする8,000m級を含め</p> <p>て6,000m以上の高峰が240もあります。</p>
<p>じんこう 人口</p>	<p>2,933万人</p>
<p>げんご 言語</p>	<p>ネパール語(公用語)、その他</p>
<p>つうか 通貨</p>	<p>ネパール・ルピー</p>
<p>きこう 気候</p>	<p>ひょうこう ていど きおん こうてい おお か 標高の程度によって、気温の高低が大きく変わります。ヒマラヤ</p> <p>さんみやく さんかくぶ こうざんきこう なんぶ ひょうこう ひく 山脈の山岳部は、高山気候となります。南部の標高の低いところで</p>

	<p>は、<sup>きおん たか</sup>気温が高く、<sup>こうすいりょう おお</sup>降水量の多い<sup>こうおん たう きこう み</sup>高温多雨気候も見られます。<sup>なんせい</sup>南西モン  <sup>えいきょう つよ</sup>スーンの影<sup>が</sup>響<sup>が</sup>強く、<sup>がつ</sup>5月<sup>がつ</sup>～<sup>あめ おお</sup>9月は雨が多く<sup>ふ</sup>降<sup>が</sup>ります。<sup>がつ</sup>11月<sup>がつ</sup>～1月      にかけては、ほとんど<sup>こうすいりょう</sup>降水量がなく、<sup>かんそう きこう</sup>乾燥した気候となります。</p>
<sup>みんぞく</sup> 民族	ネパール人 <sup>じん</sup> （ <sup>ぞく</sup> リンブー族、 <sup>ぞく</sup> ライ族、 <sup>ぞく</sup> タマン族、 <sup>ぞく</sup> ネワール族、 <sup>ぞく</sup> グルン族）
<sup>しゅうきょう</sup> 宗教	ヒンズー教 <sup>きょう</sup> 、 <sup>ぶっきょう</sup> 仏教、 <sup>きょう</sup> イスラム教

## ネパール語<sup>ご</sup>を<sup>はな</sup>話してみましよう

おはよう	スババル バータ
こんにちは	ナマステ
さようなら	ペリ ヘタウラー
ありがとう	ダニヤバート
ごめんなさい	マフ ガリディープ
はい	ホ
いいえ	ホイナ
<sup>なまえ</sup> 名前	ナム
<sup>せんせい</sup> 先生	シックチャク
<sup>とも</sup> 友だち	サティ
<sup>べんきょう</sup> 勉強	シクチャー

かぞ かた  
数え方

- ①エカ      ②ツイ      ③ディナ      ④チャラ      ⑤パチャ  
⑥チャ      ⑦サタ      ⑧アチャ      ⑨ナウ      ⑩ダス

※カタカナ表記ですので、ひょうき原音と同じではありません。げんおん おな

がっこうせいど  
学校制度

ぎ む きょういくせいど義務教育制度はありませんが、しょうがっこう ねんかん小学校5年間、ちゅうがっこう ねんかん中学校3年間、こうとうがっこう高等学校2年間、ねんかん こうきちゅうとうがっこう ねんかん だいがく後期中等学校2年間、大学はあります。

がっこう がつ はじ学校は4月に始まり、よくとし がつ お翌年の3月に終わります。

なつやす がつ にちかん ふゆやす夏休みは6月に15日間、がつ げつかん冬休みは12月の1か月間です。10月に15日間

こくみんまつ やすの国民の祭りがあり、休みとなります。

こうとうがっこう しゅうりょう せいと たいしょう高等学校を修了した生徒を対象に、School Leaving Certificate と呼

しけん ぜんこくいっせい おこなばれる試験が全国一斉に行われ、せいせき だいがくにゅうがく かのうここでの成績が大学入学を可能にします。

がっこうせいかつ  
学校生活

こうりつがっこう こ つか公立学校はネパール語を使って、せいふ つくネパール政府の作ったこくていきょうかしょ もと国定教科書に基づい

じゅぎょうて授業をしますが、しりつこう えいご つか私立校は英語を使って、おうべい きょうかしょ もとインドや欧米の教科書を基にした

えいごきょうかしょ じゅぎょう英語教科書で授業をしています。そのため、ふゆうそう してい しりつこう ゆうめい富裕層の子弟は私立校や有名

公立校に行き、<sup>ひんこんそう</sup> 貧困層の子弟は設備のよくない公立校に行くという教育<sup>きょういく</sup>における階層分離<sup>かいそうぶんり</sup>が大きくなってきています。

公立小学校<sup>こうりつしょうがっこう</sup>の制服は、上着<sup>うわぎ</sup>がうすい青のワイシャツ、ズボンとスカート<sup>こん</sup>は紺で、青いネクタイ<sup>あお</sup>をしています。小学校<sup>しょうがっこう</sup>でも専科制<sup>せんかせい</sup>ですが、一人<sup>ひとり</sup>の先生<sup>せんせい</sup>がいくつも担当<sup>たんとう</sup>している場合<sup>ばあい</sup>が多いです。先生<sup>せんせい</sup>の講義<sup>こうぎ</sup>を聞いて、ノート<sup>うつ</sup>に写します。資料<sup>しりょう</sup>はコストがかかるので配<sup>くば</sup>られません。45分ごとにチャイム<sup>ふん</sup>が鳴<sup>な</sup>らされます。弁当持参<sup>べんとうじさん</sup>が原則<sup>げんそく</sup>なのですが、昼食<sup>ちゅうしょく</sup>をとり<sup>いえ</sup>に家<sup>かえ</sup>に帰<sup>じどう</sup>る児童<sup>おお</sup>が多く見<sup>み</sup>られます。

農村部<sup>のうそんぶ</sup>では、1学年1クラス<sup>がくねん</sup>の学校<sup>がっこう</sup>が原則<sup>げんそく</sup>なので、教室<sup>きょうしつ</sup>に入りきれない場合<sup>はい</sup>は、校庭<sup>こうてい</sup>に座<sup>すわ</sup>って勉強<sup>べんきょう</sup>する学校<sup>がっこう</sup>もあります。

私立<sup>しりつ</sup>の学校<sup>がっこう</sup>では、2年生<sup>ねんせい</sup>で3桁<sup>けた</sup>の足し算<sup>た</sup>引き算<sup>ざんひ</sup>を学習<sup>さん</sup>している学校<sup>がっこう</sup>もあります。4年生<sup>ねんせい</sup>の社会科<sup>しゃかいが</sup>では、英文<sup>えいぶん</sup>の教科書<sup>きょうかしょ</sup>を使い、先生<sup>せんせい</sup>は英語<sup>えいご</sup>と民族語<sup>みんぞくご</sup>を使い分け<sup>つか</sup>て説明<sup>せつめい</sup>します。7年生<sup>ねんせい</sup>では、民族音楽<sup>みんぞくおんがく</sup>の太鼓演奏<sup>たいこえんそう</sup>の学習<sup>がくしゅう</sup>などをします。

子どもたちは、朝8時<sup>あさ</sup>～9時<sup>じ</sup>の間に、朝食<sup>あじ</sup>を食べて、10時<sup>じ</sup>～16時<sup>じ</sup>まで学校<sup>がっこう</sup>で授業<sup>じゅぎょう</sup>を受<sup>う</sup>けます。帰<sup>かえ</sup>ってきてから2時間<sup>じかん</sup>くらい友だち<sup>とも</sup>と遊<sup>あそ</sup>んで、夕飯<sup>ゆうはん</sup>を食べて宿題<sup>しゅくだい</sup>をしてから寝<sup>ね</sup>ます。中には遊<sup>あそ</sup>ばないで子守り<sup>こもり</sup>をする子<sup>こ</sup>もいます。子どもたち<sup>こ</sup>には、水汲み<sup>みずく</sup>、牛<sup>うし</sup>の世話<sup>せわ</sup>、食事<sup>しょくじ</sup>の準備<sup>じゅんび</sup>の手伝い<sup>てつだ</sup>など、家<sup>いえ</sup>の用事<sup>ようじ</sup>が多くあり、毎日<sup>まいにち</sup>学校<sup>がっこう</sup>に行<sup>い</sup>けない子ども<sup>こ</sup>が多いです。そのため、勉強<sup>べんきょう</sup>を途中<sup>とちゅう</sup>でやめて

しまう<sup>こ</sup>子どももいます。経済<sup>けいざいてき</sup>的な理由<sup>りゆう</sup>で全<sup>まった</sup>く学校<sup>がっこう</sup>に通<sup>かよ</sup>えない子どもたちも見<sup>こ</sup>られます。

## せいかつ ようす 生活の様子

こうきょう<sup>こ</sup> ば<sup>きょう</sup> いく<sup>き</sup> かん<sup>かん</sup>では、つうじょう<sup>こ</sup> こう<sup>つか</sup> よう<sup>ご</sup> であるネパール語<sup>こ</sup> が使<sup>つか</sup> われますが、ネパール語<sup>こ</sup> を母<sup>ぼ</sup> 語<sup>ご</sup> としない人口<sup>じんこう</sup> は半<sup>はん</sup> 分<sup>ぶん</sup> 以上<sup>いじょう</sup> です。その言語<sup>げんご</sup> の数<sup>かず</sup> は30種<sup>しゆ</sup> で、これ<sup>こ</sup> がさら<sup>ほう</sup> に方言<sup>げん</sup> に分<sup>わ</sup> かれています。観光<sup>かんこう</sup> ビジネス<sup>たすさ</sup> に携<sup>ひと</sup> わる人<sup>なか</sup> の中<sup>に</sup> には、日本<sup>にほん</sup> 語<sup>ご</sup> を話<sup>はな</sup> せる人<sup>ひと</sup> の数<sup>かず</sup> も徐<sup>じょ</sup> 々<sup>じょ</sup> にではある<sup>い</sup> が、増<sup>ふ</sup> えてきています。

あさ<sup>あさ</sup> よる<sup>よる</sup> はご飯<sup>はん</sup> 中<sup>ちゆう</sup> 心<sup>しん</sup> に豆<sup>まめ</sup> のスープ<sup>やさい</sup> (ダル)、野菜<sup>やさい</sup> カレー<sup>から</sup> (タルカリ)、辛<sup>つめ</sup> い漬<sup>け</sup> 物<sup>もの</sup> (アツァール) など<sup>た</sup> を食<sup>ひる</sup> べます。昼<sup>ひる</sup> はご飯<sup>はん</sup> 以<sup>い</sup> 外<sup>がい</sup> の軽<sup>けい</sup> 食<sup>しょく</sup> です。

だいひょう<sup>だい</sup> てき<sup>ひょう</sup> な料理<sup>てき</sup> とし<sup>りょう</sup> て「アルコ・ロティ」<sup>りょう</sup> があり<sup>り</sup> ます。じゃがいも<sup>じゃがいも</sup> のすりおろし<sup>すりおろし</sup> をたっ<sup>ま</sup> ぷり混<sup>ま</sup> ぜた生<sup>き</sup> 地<sup>じ</sup> をパン<sup>うす</sup> ケー<sup>や</sup> キのよう<sup>あさ</sup> に薄<sup>うす</sup> く焼<sup>や</sup> き、朝<sup>あさ</sup> ・昼<sup>ひる</sup> ・晩<sup>ばん</sup> 、いつ<sup>いつ</sup> ても食<sup>た</sup> べます。

うし<sup>うし</sup> かみ<sup>かみ</sup> さま<sup>さま</sup> だから、ぎゅう<sup>ぎゅう</sup> にく<sup>にく</sup> た<sup>た</sup> は食<sup>た</sup> べてはい<sup>い</sup> け<sup>け</sup> ないこ<sup>こ</sup> にな<sup>な</sup> っています。

いふく<sup>いふく</sup> じゅう<sup>じゅう</sup> きょ<sup>きょ</sup> みん<sup>みん</sup> ぞく<sup>ぞく</sup> ちけい<sup>ちけい</sup> きこう<sup>きこう</sup> ちが<sup>ちが</sup> によって違<sup>ちが</sup> いがあり<sup>あり</sup> ます。普通<sup>ふつう</sup> 、男性<sup>だんせい</sup> はドウラ<sup>ドウラ</sup> ・スル<sup>スル</sup> ワル<sup>ワル</sup> 、女性<sup>じよせい</sup> はサ<sup>サ</sup> リー<sup>リー</sup> ・ブラウ<sup>ブラウ</sup> ズ<sup>ズ</sup> を着<sup>き</sup> ます。

さまざま<sup>さまざま</sup> みん<sup>みん</sup> ぞく<sup>ぞく</sup> こと<sup>こと</sup> げん<sup>げん</sup> ご<sup>ご</sup> しゅう<sup>しゅう</sup> きょう<sup>きょう</sup> せい<sup>せい</sup> かつ<sup>かつ</sup> しゅう<sup>しゅう</sup> かん<sup>かん</sup> ぶん<sup>ぶん</sup> かが<sup>か</sup> も<sup>も</sup> たが<sup>たが</sup> 互<sup>たが</sup> いに<sup>い</sup> 尊<sup>そん</sup> 重<sup>ちゆう</sup> ・融<sup>ゆう</sup> 和<sup>わ</sup> しあい<sup>しあい</sup> 暮<sup>く</sup> らして<sup>して</sup> います。民族<sup>みんぞく</sup> 間<sup>かん</sup> ・宗<sup>しゅう</sup> 教<sup>きょう</sup> 観<sup>かん</sup> の緊<sup>きん</sup> 張<sup>ちゆう</sup> がほ<sup>ほ</sup> とん<sup>とん</sup> どあり<sup>あり</sup> ませ<sup>ませ</sup> ん。

てつ<sup>てつ</sup> とう<sup>とう</sup> はな<sup>な</sup> く、バス<sup>りょう</sup> を利<sup>り</sup> 用<sup>よう</sup> して<sup>して</sup> います。

人気の遊びとしては、ツウンギやカバルディがあります。ツウンギは、一本のひもを何十個もの輪ゴムの真ん中に通して、そのひもの両端を結びと花の形をしたものになり、これをツウンギといい、足でサッカーボールのようにリフティングして遊びます。

カバルディは中央にラインを引き、コートをつくります。そして、A・B、2つのグループに分かれます。A・Bの代表がくつを投げて表と裏で鬼を決めます。鬼が大きく息を吸い込み、「カバルディ」と言いながら、相手のコートで敵にタッチします。敵は鬼が自分のコートに帰れないように邪魔をします。鬼が、自分のコートに帰れないまま息が切れたときは、鬼が退場し、帰れたときはタッチされた人が鬼になります。

## ヒマラヤ

